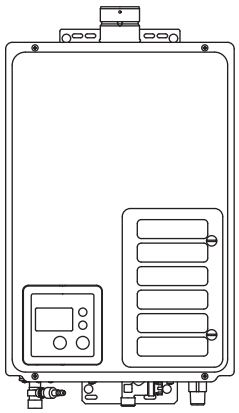
保証書付

パロマ
ガス瞬間給湯器



□PH-163EWFS　□PH-163EWHFS
□PH-203EWFS　□PH-203EWHFS
□PH-103EWFS　□PH-163EWHFSL

（末尾にLが付くタイプはBL認定部品です。）

取扱説明書

このたびは、ガス瞬間給湯器をお買い上げいただきありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。

●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くのパロマまでお問い合せください。

Paloma

特定保守製品

この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」ですので、所有者登録と法定点検が必要です。詳しくは別冊の「安全点検制度に関するお願いちらし」をご覧ください。

もくじ

はじめに
各部のなまえとはたらき 1
リモコンでできること 5
必ずお守りください 6
準備と確認 13

使いかた
お湯の出しかた 15
温度調節をするには 16
湯はりコールの使いかた 17
お湯はり中のお湯を自動で停止させる 19
呼びだすには 23
操作確認音の音量調節のしかた 23

上手に使って長持ちさせるには
点検とお手入れ 24
故障かな？と思ったら 27
凍結を防ぐには 30

仕様/アフターサービス
仕様 32
保管とアフターサービス 34
保証書 裏

各部のなまえとはたらき

排気筒（排気筒トップ）

燃焼排ガスを屋外に出します。

＊排気筒トップ…排気筒の先端部分

銘板・特定保守製品表示

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者・特定製造事業者等名・設計標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先等を表示しています。

本体表示

使用上の注意について表示しています。

給気口

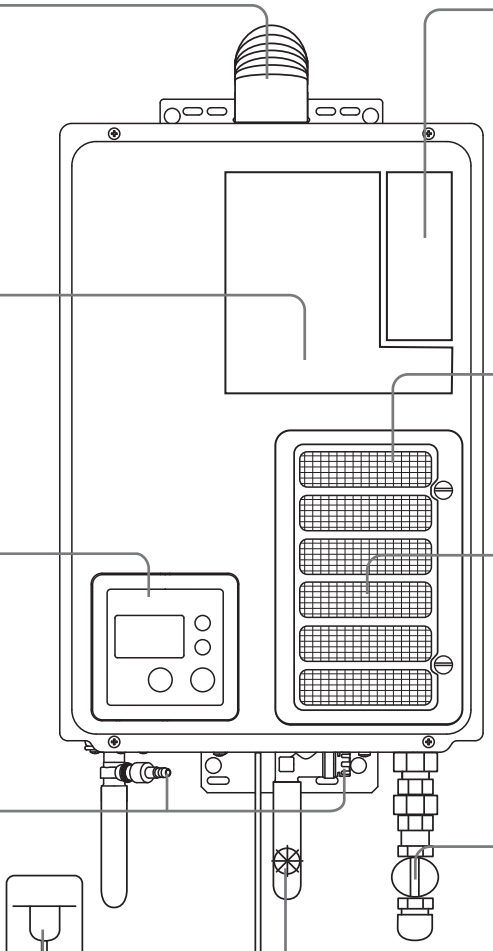
燃焼用空気を吸い込みます。

操作部（リモコン）

スイッチの「入」「切」、湯温調節等を行います。

給気フィルター

空気中のほこりが機器内へはいるのを防ぎます。



水抜き栓

凍結予防のため機器の水を抜くときにはずします。

ガス栓

ガスの開閉を行います。

電源プラグ

電気の供給を行います。

給水元栓

水道水の開閉を行います。

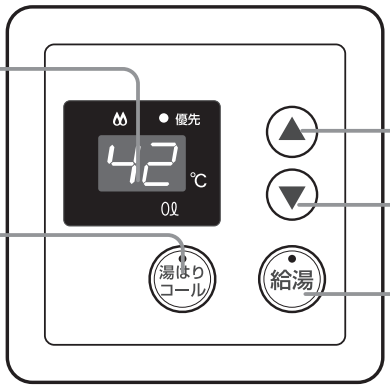
安全装置について

不完全燃焼防止装置…万一の事故を防ぐために、排気筒のつまりなどの原因で機器が不完全燃焼するような状態になったときに働きます。

各部のなまえとはたらき【操作部（リモコン）】

●リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

PH-163EWFS, PH-203EWFS, PH-103EWFS用 給湯リモコン　MCS-101



表示部（下図参照）

湯はりコールスイッチ
湯はりコールランプ

湯はりコールセット時に押します。スイッチを「入」にすると、湯はりコールランプが点灯します。設定後は湯はりコールランプは点滅します。

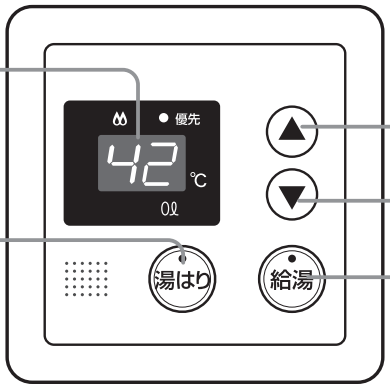
湯温/湯量調節スイッチ

給湯温度の調節と湯はりコール設定湯量の調節をします。

給湯スイッチ
給湯ランプ

お湯を出すときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

PH-163EWHFS, PH-203EWHFS, PH-163EWHFSL用 給湯リモコン　MCS-115V



表示部（下図参照）

湯はりスイッチ
湯はりランプ

浴槽にお湯はりするときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると湯はりランプが点滅し音声でガイドします。

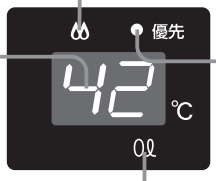
湯温/湯量調節スイッチ

給湯温度の調節とお湯はりの設定湯量の調節をします。

給湯スイッチ
給湯ランプ

お湯を出すときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

リモコン表示部



【MCS-101の場合】
給湯設定温度/湯はりコール設定湯量表示
給湯温度、湯はりコール設定量のめやすが表示されます

【MCS-115Vの場合】
給湯設定温度/湯はり設定湯量表示
給湯温度、湯はり設定量のめやすが表示されます。
（お湯はり時は、湯はり温度のめやすを表示します。）

燃焼確認ランプ

燃焼中にランプが点灯します。

優先表示

優先表示が点灯している側のリモコンで給湯温度調節ができます。

「0ℓ」表示

設定湯量を表示中に点灯します。

エラーコード

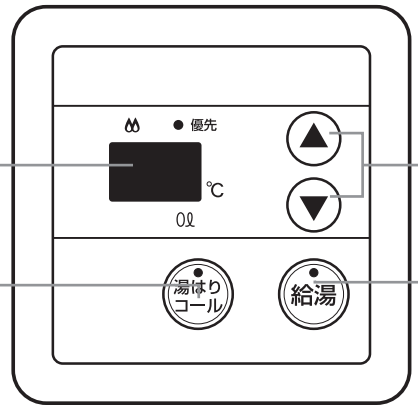
機器が正常に作動しないときにエラーコードが表示されます。

※操作確認音は、消したり、鳴らしたりすることができます。
詳しくは「操作確認音の音量調節のしかた」（23,24ページ）をご覧ください。

各部のなまえとはたらき（別売リモコン）

PH-163EWFS, PH-203EWFS, PH-103EWFS用 給湯リモコン　MC-117, MC-101

…台所等に取り付けるリモコンです。
（イラストはMC-117リモコンです。）



表示部（下図参照）

湯はりコールスイッチ
湯はりコールランプ

湯はりコールセット時に押します。スイッチを「入」にすると、湯はりコールランプが点灯します。設定後は湯はりコールランプは点滅します。

湯温／湯量調節スイッチ

給湯温度の調節と湯はりコール設定湯量の調節をします。

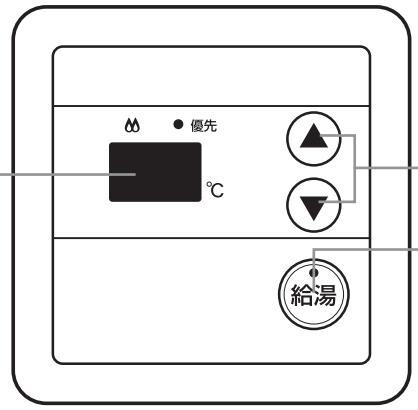
給湯スイッチ・給湯ランプ＊

お湯を出すときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

＊: MC-101リモコンの場合、運転スイッチ・運転ランプになります。

PH-163EWFS, PH-203EWFS, PH-103EWFS用 シャワーリモコン　SC-117, SC-101

…浴室内に取り付けるリモコンです。
（イラストはSC-117リモコンです。）



表示部（下図参照）

湯温調節スイッチ

給湯温度の調節をします。

給湯スイッチ・給湯ランプ＊

お湯を出すときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

＊: SC-101リモコンの場合、運転スイッチ・運転ランプになります。

リモコン表示部

給湯設定温度表示

給湯温度のめやすが表示されます。

湯はりコール設定湯量表示
（給湯リモコンのみ）

設定湯量のめやすが表示されます。

エラーコード

機器が正常に作動しないときにエラーコードが表示されます。

燃焼確認ランプ

燃焼中にランプが点灯します。

優先表示

優先表示が点灯している側のリモコンで給湯温度調節ができます。

湯はりコール湯量表示
（給湯リモコンのみ）

湯量表示中に点灯されます。

※操作確認音は、消したり、鳴らしたりすることができます。
詳しくは「操作確認音の音量調節のしかた」（23ページ）をご覧ください。

PH-163EWHFS, PH-203EWHFS, PH-163EWHFSL用

給湯リモコン　MC-115V, MC-117V
ふろリモコン　FC -115V, FC-117V

・・・・給湯リモコンは台所等に取り付けるリモコンです。
ふろリモコンは浴室内に取り付けるリモコンです。

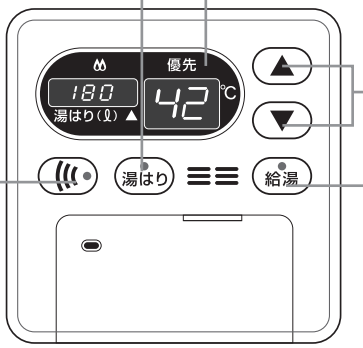
湯はりスイッチ・湯はりランプ
浴槽にお湯はりするときは、押して「入」にします。スイッチを「入」にすると、湯はりランプが点灯し音声でガイドします。

呼び出しスイッチ・呼び出しランプ
【MC-117V, FC-117V
MC-115V, FC-115Vの場合】
スイッチを押すと、ブザーが鳴って相手を呼び出します。

表示部（下図参照）

給湯湯温調節スイッチ
給湯温度の調節をします。

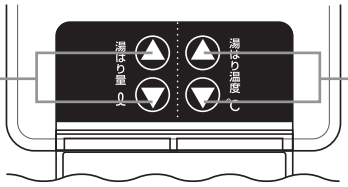
給湯スイッチ・給湯ランプ
お湯を出すときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。



ふたが開いた状態

湯はり量調節スイッチ
湯はり量を調節します。

湯はり温度調節スイッチ
湯はり温度の調節をします。

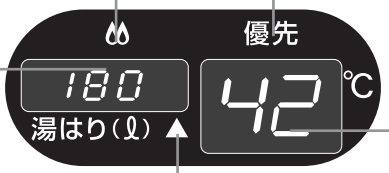


リモコン表示部

燃焼確認ランプ
燃焼中にランプが点灯します。

湯はり量表示
湯はり設定量を表示します。

「△」表　示
湯はり量を表示中に△が点灯します。



優先表示
優先表示が点灯している側のリモコンで給湯温度調節ができます。

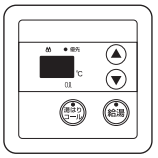
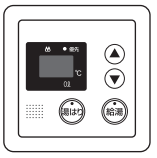
給湯設定温度表示
給湯温度のめやすが表示されます。
（お湯はり時は、湯はり温度のめやすを表示します。）

エラーコード
機器が正常に作動しないときにエラーコードが表示されます。

※操作確認音や音声は、消したり、鳴らしたりすることができます。
詳しくは「操作確認音の音量調節のしかた」(24ページ)をご覧ください。

リモコンでできること

機器やリモコンの種類によってそれぞれ使える機能が違います。
次の表を参考に、お使いのリモコンの機能を確認してください。

対象器種・リモコン ＼ 機能		お湯を出す (15ページ)	湯はりについて: 設定湯量になるとおしらせする（湯はりコール）*1 (17ページ)	湯はりについて: 設定湯量になるとお湯を止める（オートストップ）*2 (20,21ページ)	だれかを呼び出す (23ページ)	操作内容を音声でおしらせする
PH-163EWFS PH-203EWFS PH-103EWFS	 MCS-101	○	○	—	×	×
	 MC-101, SC-101 MC-117, SC-117 ＊イラストはMC-117リモコンを表します。	○	この機能はMC-101, MC-117のみ使用できます。 ○	—	×	×
PH-163EWHFS PH-203EWHFS PH-163EWHFSL	 MCS-115V	○	—	○	×	○
	 MC-115V, FC-115V MC-117V, FC-117V	○	—	○	この機能はMC-115V,FC-115Vおよび、MC-117V,FC-117Vのセットでのみ使用できます。 ○	○

＊1　湯はりコール … 給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにブザーでお知らせする機能です。
＊2　オートストップ…給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにお湯を自動で停止させる機能です。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

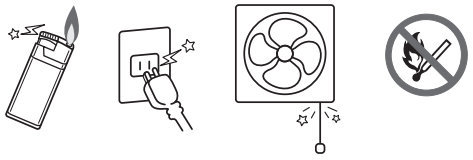
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

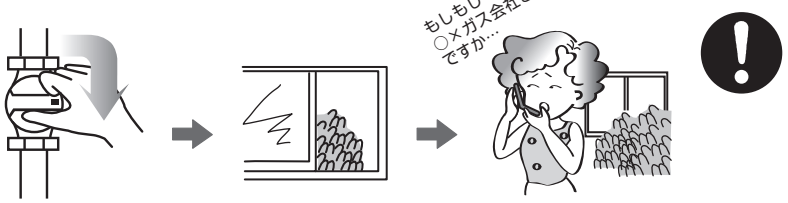
⚠危険

ガス漏れ時の使用厳禁

ガス漏れに気付いたときは、ガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しない
炎や火花で引火し火災や爆発事故を起こすことがあります。

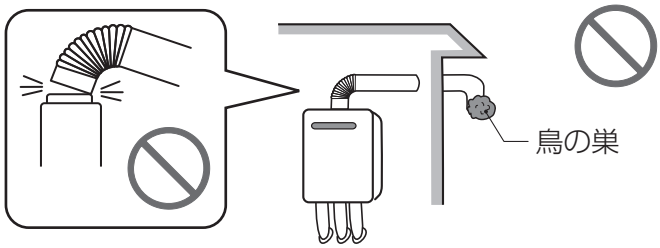


①すぐに使用を止め、ガス栓を閉じる。
　また、メーターのガス栓も閉じる
②窓や戸を開けガスを外へ出す
③お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）まで連絡する



排気筒（排気筒トップ）が外れたり鳥の巣などでつまったり、ふさがっていないか点検する

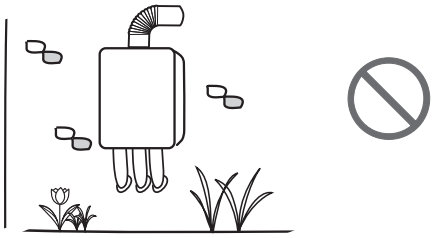
排気が屋内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり危険です。



⚠警告

この機器は屋内式ですので屋外に設置されていないことを確認する

風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因になります。



必ずお守りください

⚠警告

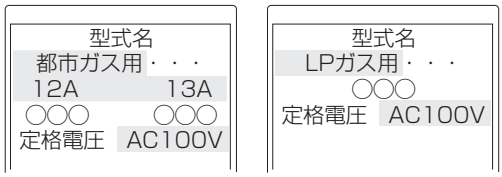
機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する

表示のガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。

電源はAC100Vを使用する

＊わからない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）まで連絡する。

（例）



機器の設置（および付帯工事）

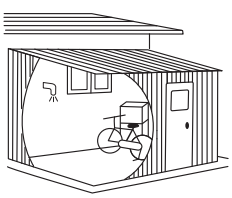
機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

ガス接続（ガス事故防止）

この機器の接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者に依頼してください。

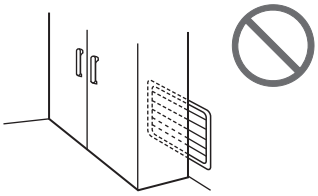
設置後、機器や排気口（排気筒トップ）を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



家屋の換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがない。また、機器を使用の際は台所や脱衣所などの換気扇を使用しない

室内に排気ガスが入って不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

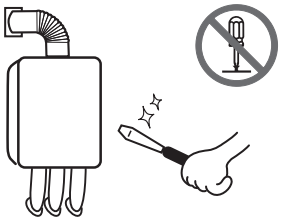


外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで排気口（排気筒トップ）や家屋の給気口を覆う場合は機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

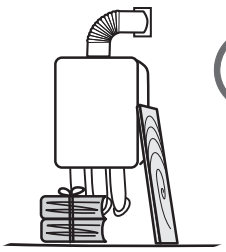
絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

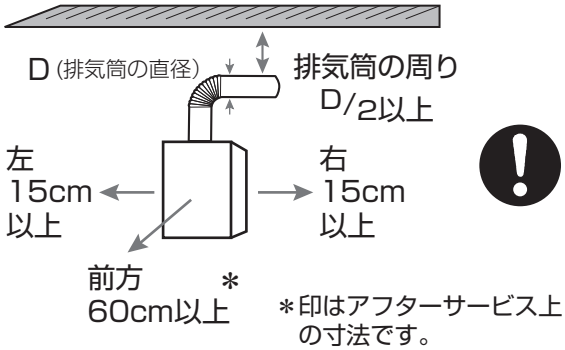


機器および排気筒（排気筒トップを含む）の周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

火災の原因になります。



※可燃物との離隔距離



＊印はアフターサービス上の寸法です。

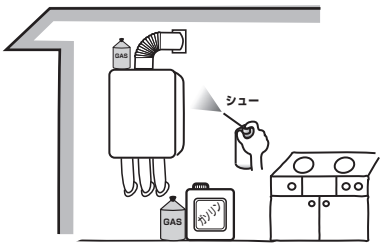
⚠警告

機器や排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

引火して火災、やけどのおそれがあります。



入浴時には必ず手で湯温を確かめてから入浴する

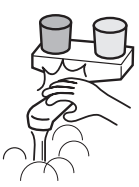
シャワーなどお湯を使う場合は、最初に熱いお湯が出ることがあるため、手のひらで湯温が安定したことを確かめてから使用する

やけどのおそれがあります。

やけどの予防のために出始めのお湯は体にかけない

お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用し給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬熱いお湯が出ることがあります。

給湯使用時は出湯管(蛇口)が熱くなるのでやけどに注意する



湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする

急に湯量を少なくしたり、しぼりすぎると熱いお湯が出ることがあります。また、消火することもあります。

湯温を低めに設定した場合の注意

水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

シャワー、給湯の使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

熱いお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す

熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

配管内の熱いお湯がでてしまうまですぐにぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。

子供を浴室または、機器の周囲や直下で遊ばせない
子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない
浴そうで水に潜ったりしない

→思わぬ事故につながることがあります。
＊特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。

浴そうのふたの上に乗ったり手をついたりしない

ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

必ずお守りください

⚠警告

異常時の処置

①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
②「故障かな？と思ったら」（27〜29ページ）に従い処置する。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くのパロマまで連絡する。

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる。

＊再びお使いになる前に必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。

給湯栓を全て閉める　電源プラグを抜く　ガス栓・給水元栓を閉じる

機器本体に無理な力を加えない。機器本体やガスの接続口、給排気口などに乗らない

けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

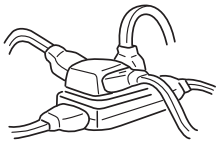
火災の原因になります。

この機器をソーラーシステムに接続しない

ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

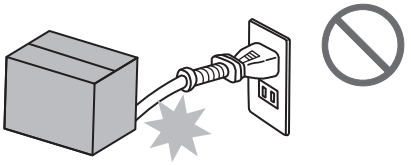
コンセントや配線器具、たこ足配線などで定格を超える使いかたをしない

発熱による火災の原因となります。



電源コードを加工したり無理な力を加えない。また電源コードへの物のせ、束ね使用をしない。電源コードを切断して延長しない。電源コードがコンセントに届く範囲にする

感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。

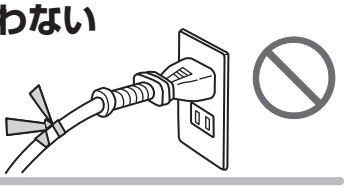


電源プラグは根元まで完全に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

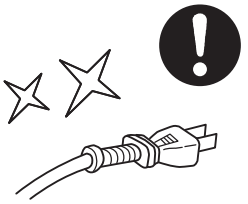
傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

感電や火災に原因になります。



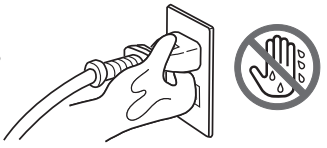
電源プラグのほこりなどは定期的にふきとる

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。



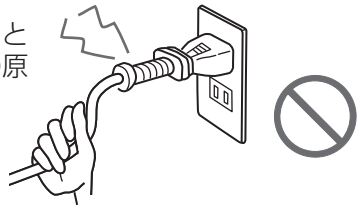
ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。



電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない

電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。



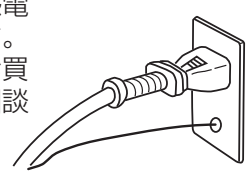
⚠注意

給湯・シャワー以外の用途には使用しない

思わぬ事故の原因になることがあります。

この機器はアースが必要なのでアースされていることを確認する

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

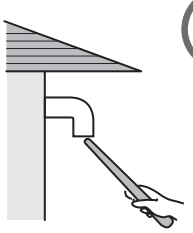


使用中や使用直後は機器本体、排気筒（排気筒トップを含む）とその周辺は高温になっているので、操作部以外は手を触れない

やけどのおそれがあります。

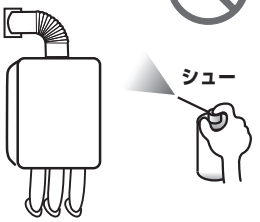
排気筒トップに指や棒を入れない

故障やけがの原因となります。



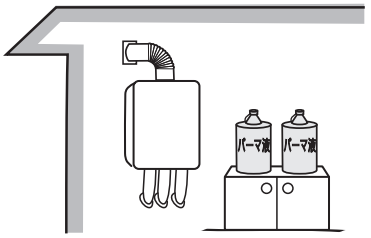
機器と同室内でシリコンを含むスプレー（ヘアスプレー、静電気防止スプレーなど）を使用しない

電気部品の故障の原因になります。



機器と同室内で特殊薬品を使用したり、保管しない

気化した特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素エチレン化合物、酸類など）が機器内に入り、故障や不完全燃焼防止装置が働く原因になります。



積雪や、屋根から落ちた雪により排気筒トップがふさがれないように注意する。
積雪時は排気筒トップの点検、除雪を行う

ふさがれると排気が逆流して室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因になります。
また、故障の原因になります。

おねがい

家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品および補助具は、当社の純正部品以外は使わない

当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にして、ランプの消灯を確認してください。長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
＊リモコンの燃焼ランプで確認してください。
（詳しくは15, 20, 22ページをご覧ください。）

必ずお守りください

おねがい

リモコンの注意

・リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

・シャワー（ふろ）リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
給湯リモコンは防水タイプではありません。
炊飯器、電気ポットなどの蒸気にも注意してください。
故障の原因になります

・リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。

リモコンの設置場所について

・サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。
（5～55℃の範囲内で使用してください。）

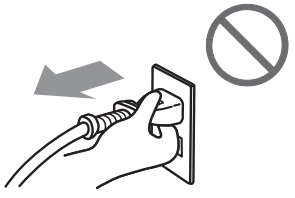
・給湯リモコンとシャワー（ふろ）リモコンの設置が近い場合、通話中にハウリング（キーン等の大きな音がする現象）を起こすことがあります。このような場合には、リモコンの設置場所や向きの変更が必要となりますので、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

・大きな音が出ることがあります。聴覚障害を引き起こすおそれがあります。

電源について

凍結予防運転のために電気を使用していますから緊急の場合以外は電源プラグを抜かないでください。



飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

停電・断水のときは

・停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。（通電・通水後は改めて操作してください。）

・断水から復帰した後、使い始めのお湯は飲用水・調理水などに用いないでください。断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。

・断水復帰後は、蛇口から十分な水を流してから使用してください。

＊断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて、リモコンを「切」にした状態で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

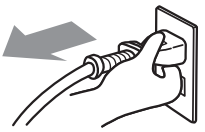
再通電後のリモコン表示

●温度表示は前回使用時の設定が表示されます。
●湯量表示は下記のように表示されます。

- MCS-101・MC-101・MC-117リモコンの場合
→「180 ℓ」が表示されます。
- SC-101・SC-117リモコンの場合
→湯量表示はありません。
- MCS-115V・MC-117V・MC-115V・FC-117V・FC-115Vリモコンの場合
→前回使用時の設定が表示されます。

雷時の注意

雷が発生し始めたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。（電源コードが埋め込まれている場合は、元のブレーカーで落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷が遠ざかってから、電源プラグが濡れていないことを確認して電源プラグを差し込んでください。



おねがい

温泉水や井戸水・地下水を使わない上水道を使用する

水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。

＊温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補償費用はお客様の負担となります。

通水使用の禁止

リモコンのスイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水をだしたり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、寿命が短くなります。

増改築時の注意

塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮し、点検・修理のための空間を確保してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。また、塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。

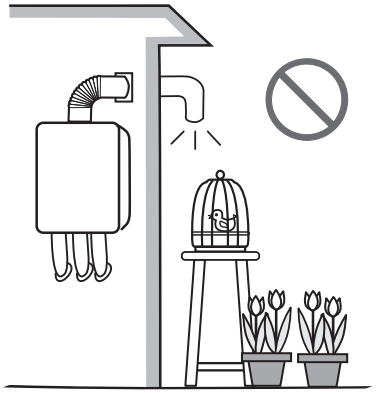
（機器の点検・修理のための空間については、お買い上げの販売店またはお近くのパロマまでご連絡ください。）

排気口の周囲

排気筒トップからの燃焼排ガスによって過熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を置かないでください。

増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。

変色・破損・腐食の原因になります。



特監法対象機器

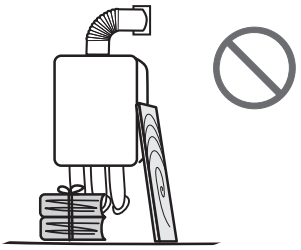
この機器の設置および変更工事は、法律（特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律）に基づいて行い、工事完了後、器体（機器本体）に法定ステッカー（表示ラベル）を貼り付けることになっておりますので、確認してください。

準備と確認

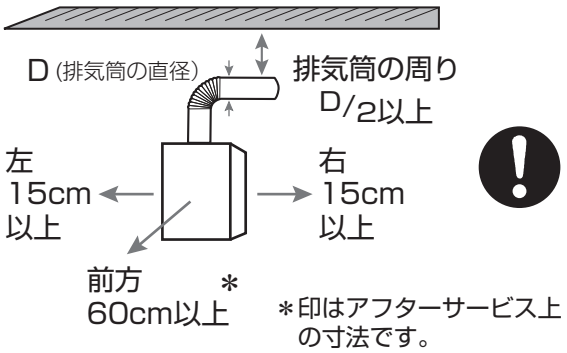
設置状態の確認

ご使用前や日常の点検の際に次の項目をご確認ください。

①機器は屋内に設置してある。
②機器は堅固に設置してある。
③排気筒は屋外まで延長してある。
④給気が十分行える場所に設置してある。
⑤機器の排気口（排気筒トップ）の近辺に窓（隣家の窓も含む）がない。
　●隣家の迷惑にならない場所に設置してある。
⑥油煙の多い場所に設置していない。
⑦機器への配管にはガス栓、給水元栓が取り付けてある。
⑧換気扇などからの風が機器の給気に影響を与えない場所に設置してある。
⑨機器の周囲に可燃物がない。
　●洗濯物などの燃えやすいものがない。
　●棚のしたなど落下物がない。
　●排気筒トップからの燃焼排ガスにより過熱されて困るもの（危険物、植物、ペット、プラスチック製のといなど）がない



※可燃物との離隔距離

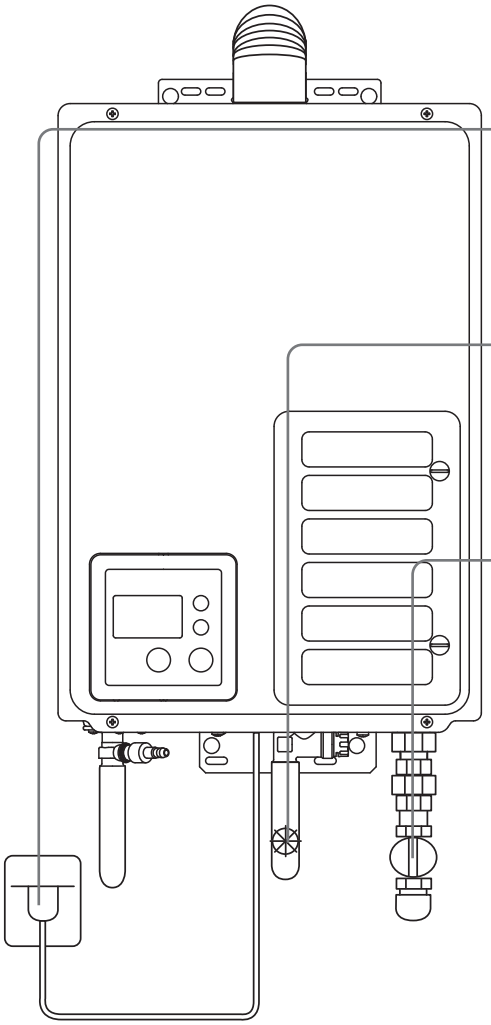


⑩凍結予防のため、給水・給湯配管に保温材を巻く等の措置がしてある。
　また、水抜き栓は保温材から出ており水抜き操作できるようになっている。
⑪機器の排気口（排気筒トップ）を波板などで囲んでいない。

＊以上の設置に関し、ご不明な場合は、施工業者までお問い合わせください。

長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき、安全にご使用ください。

使用前の準備と確認



電源プラグをコンセントに
差し込んでください

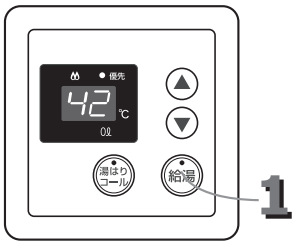
給水元栓を全開にしてください
つまみは左に止まるまで回し、
必ず全開で使用してください。

ガス栓を全開にしてください
必ず全開で使用してください。

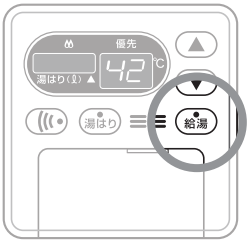
＊電源（AC100V）を入れた直後（約20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。

お湯の出しかた

【MCS-101リモコン】

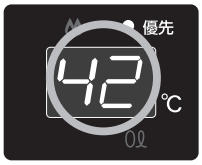


＊ここではMCS-101リモコンを使って説明しています。
＊他のリモコンも同じ操作方法です。
＊リモコンによって「給湯」スイッチが「運転」スイッチの場合があります。



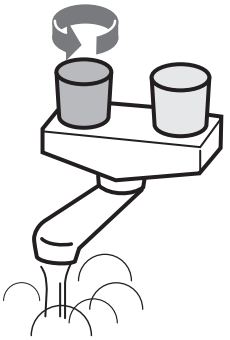
1 「給湯」（または「運転」）スイッチを押す

前回設定の温度



2 給湯栓を開ける

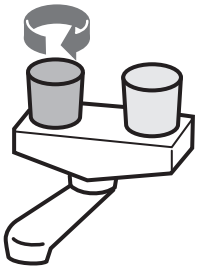
開く



燃焼確認ランプ点灯

3 給湯栓を閉める

閉める



燃焼確認ランプ消灯

⚠警告

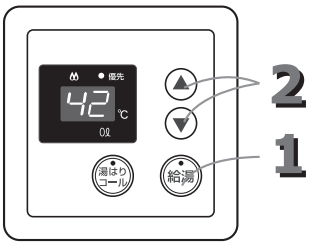
おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコン(シャワーリモコン)の給湯スイッチを押して優先にする
→優先にしないと給湯リモコンで温度を変えられてやけどのおそれがあります。

知っておいてね

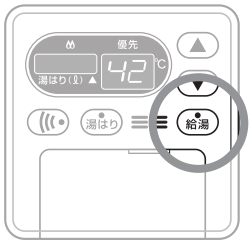
●初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
（給湯栓の開閉操作を2～3回くり返してください。）
●給湯栓を絞りすぎると消火します。（給湯栓をもっと開けてご使用ください。）
●2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によっては、ほとんどお湯が出ないことがあります。
●リモコンの設定温度を低くしている場合や、夏期など水温の高い場合、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあります。
●給湯リモコンとふろ（シャワー）リモコンの両方を使用している場合、どちらかのリモコンの「給湯（運転）」スイッチを3秒以上押し続けるともう一方のリモコンも「切」となります。

温度調節をするには

【MCS-101リモコン】



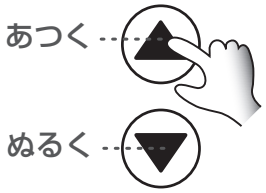
＊ここではMCS-101リモコンを使って説明しています。
＊他のリモコンも同じ操作方法です。
＊リモコンによって「給湯」スイッチが「運転」スイッチの場合があります。



1 「給湯」（または「運転」）スイッチを押す

前回設定の温度

2 温度を調節する

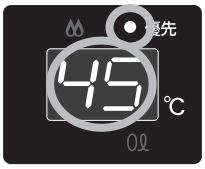


●38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60℃と変わります。

【MCS-115V, MC-117V, FC -117V, MC-115V, FC-115Vリモコンの場合】
60℃設定にした場合、注意を促すため、音声で熱いお湯が出ることをお知らせします。

●設定を記憶します。

優先表示確認



調節後の温度

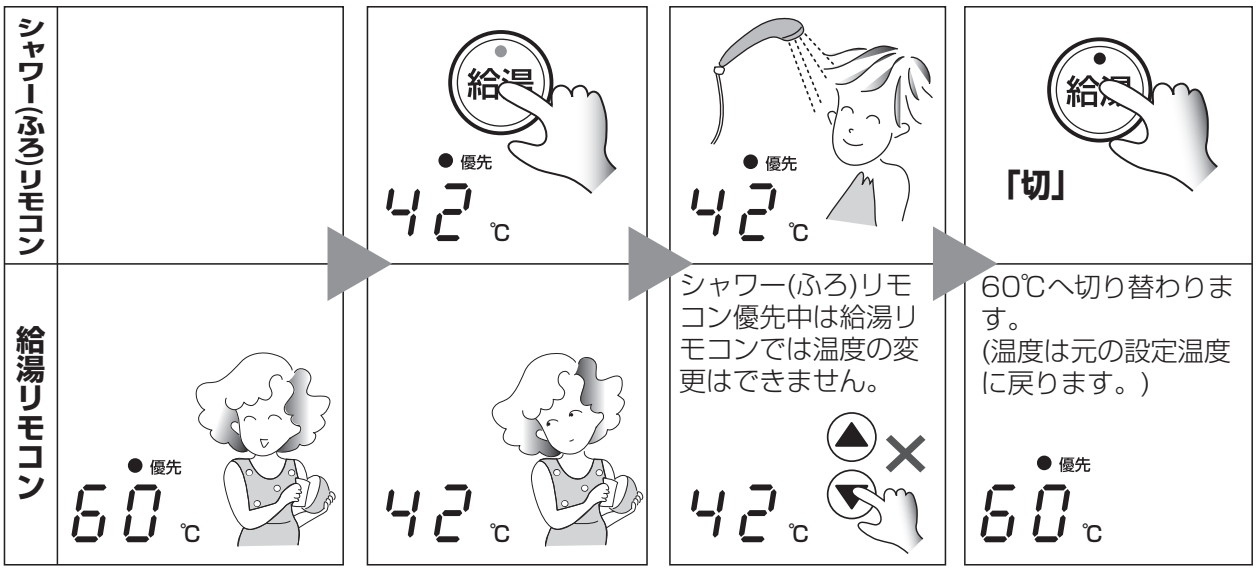
温度のめやす

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
ややぬるめ			適温			ややあつめ			あつい			

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。表示の温度はめやすとしてください。

シャワー(ふろ)リモコンが優先のおはなし

おふろではいつも快適な入浴が楽しめるように、シャワーリモコン（ふろリモコン）優先中は給湯リモコンでは温度が変えられないしくみになっています。



湯はりコールの使いかた

（MCS-101，MC-101
MC-117の
リモコンをお使いのかた）

湯はりコールとは、給湯栓から出たお湯の量が設定した湯量に達したときに、“ピピピッ”とブザーでお知らせする機能です。

※湯はりコールはお知らせ機能だけで給湯を自動停止することはできません。

＊ここではMCS-101のリモコンを使って説明しています。

1 「給湯」（または「運転」）スイッチを押す

2 「湯はりコール」スイッチを押す

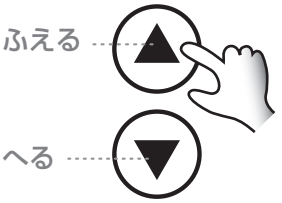
●ピッと鳴り、初期設定の180ℓまたは前回使用時に設定の湯量が表示されます。
●湯量の表示は10ℓ単位です。

前回設定の湯量

3 湯量を調節する

※湯量を変更する場合のみ行ってください。

15秒以内



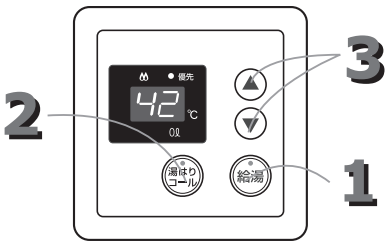
●10～500ℓまで10ℓづつ調節できます。
押し続けると連続的に変わります。
●初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴槽を想定しています。

調節後の湯量

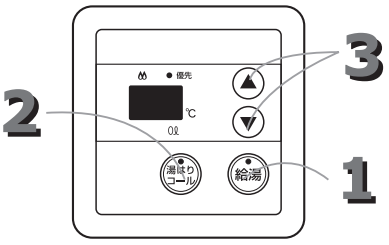
知っておいてね

●「湯はりコール」スイッチを押してから15秒以内に湯量調節が行われないときは、自動的に初期設定の湯量または前回使用時に設定の湯量でセットされます。
●湯はりコールはセット後1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
●湯はりコールをセット後、お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定湯量より少なくなります。
●リモコンを2個以上お使いの場合は、それぞれのリモコンで設定してください。
同時には変わりません。

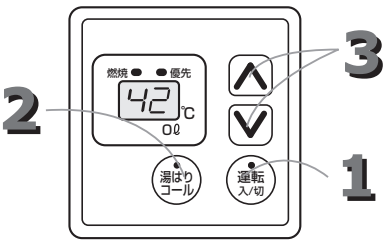
【MCS-101リモコン】



【MC-117リモコン】



【MC-101リモコン】



4 【湯はりコールセット完了】

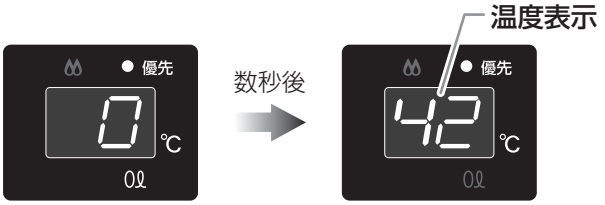
湯量調節から15秒後、湯はりコールランプが点滅し、温度表示に戻る

- すぐに湯はりコールをセットさせたい場合はもう1度「湯はりコール」スイッチを押してください。
- 給湯は給湯栓の開閉で行ってください。

5 【湯はりコールでお知らせ】

設定湯量に達すると、15秒間“ピピピッ”でお知らせ

- “ピピピッ”を止めるには「湯はりコール」スイッチを押してください。
- 「0ℓ」と表示されます。ブザー終了後は、湯はりコールランプが消灯し、温度表示に戻ります。



湯はりコールを途中で取り消すとき

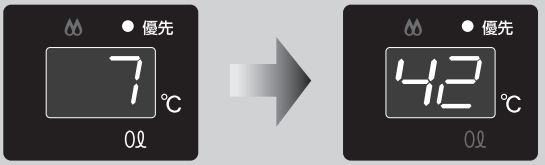
「湯はりコールスイッチ」を2回押す

湯量調節をする前に湯はりコールのセットが完了してしまった場合は、湯はりコールを取り消し、再度 **2** の操作からやり直してください。

残り湯量を知りたいとき

「湯はりコールスイッチ」を押す

数秒後温度表示に戻る



お湯はり中にお湯を自動で停止させる

（MCS-115V, MC-115V, FC-115V,
MC-117V, FC-117V
のリモコンをお使いのかた）

給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにお湯を自動で停止させることができます。

※お湯はりが終了した時・解除した時は、忘れずに給湯栓を閉めてください。
→給湯栓を閉め忘れたまま「湯はり」スイッチを「切」にすると再度、給湯栓からお湯や水が出ます。

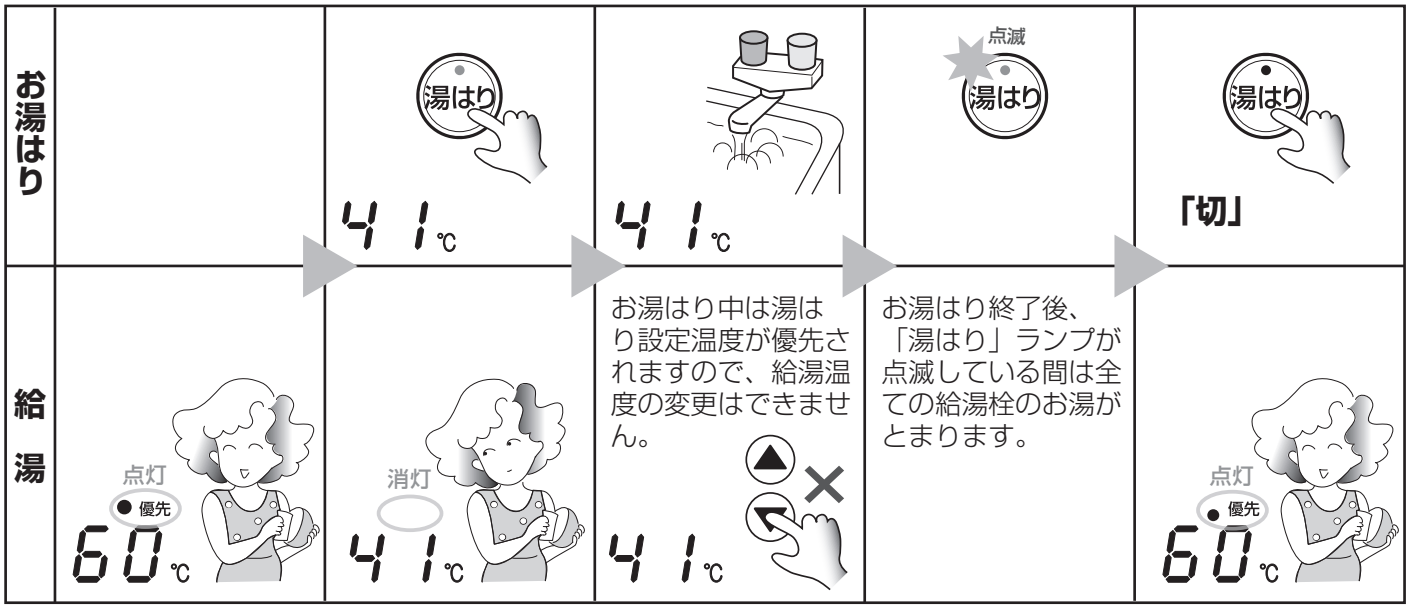
お湯はりをする前に

お湯はりをする前に次の点を確認ください。
内容をよくご理解いただいてから、お湯はりを行ってください。

お湯はりが最優先のおはなし

お湯はり中は「湯はり」が最優先されます。お湯はり中に給湯スイッチを押すと、点灯、消灯はしますが、お湯はりを継続します。また、「湯はり温度」以外の給湯温度の変更はできません。

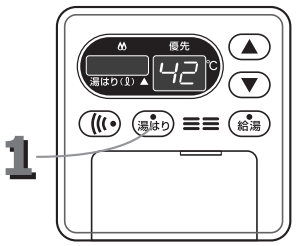
（例）MCS-115Vの場合



知っておいてね

- 「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯がとまります。
- お湯はり中にすべての給湯栓を閉めた場合、お湯はりは一時中断されますが、再び給湯栓を開くと、お湯はりは継続されます。（中断後6時間以内）
- 給湯栓を閉め忘れたまま「湯はり」スイッチを「切」にすると、「給湯」スイッチが「切」の場合は浴槽に給水され、「給湯」スイッチが「入」の場合は浴槽に給湯されます。**湯はり解除時は、忘れずに給湯栓を閉めてください。**

MC-115V, FC-115V, MC-117V, FC-117Vリモコンの場合

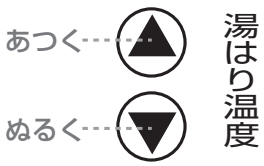


お湯はりを途中でやめたいとき

1 「湯はり」スイッチを押す

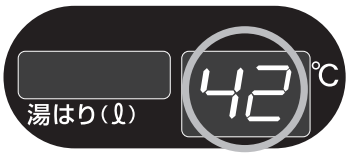
2 給湯栓をしめてから、「湯はり」スイッチを押して「切」にする

湯はり温度を調節するには

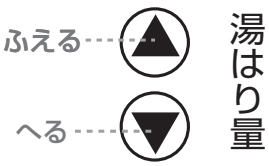


- ●38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
- ●設定完了3秒後に消灯します。
- ●設定を記憶します。

前回設定の温度



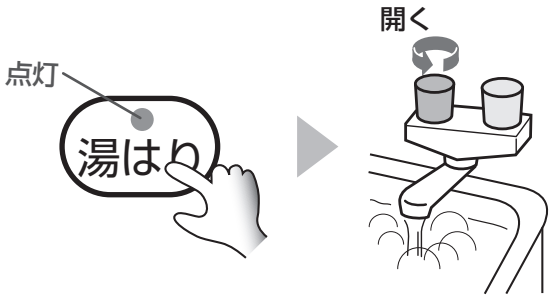
湯はり量を調節するには



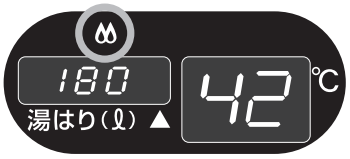
- ●10ℓ～500ℓまでは10ℓずつ、さらに990ℓの調節ができます。
- ●初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴そうを想定しています。
- ●設定を記憶します。

前回設定の湯量

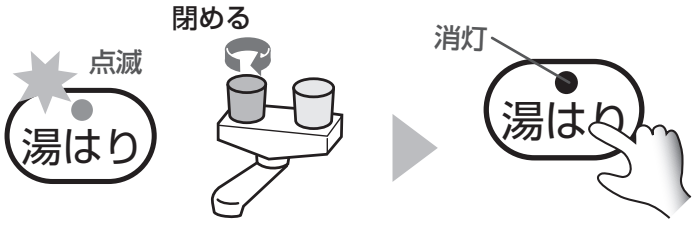
1 「湯はり」スイッチを押してから、給湯栓を開く



燃焼確認ランプ点灯



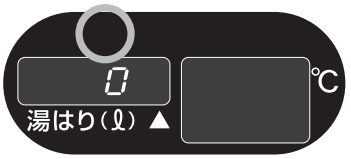
2 【お湯はり終了】
給湯栓を閉めてから「湯はり」スイッチを押して「切」にする



- ●お湯はりが終了すると、ボイスガイドでお知らせし、湯はりランプが点滅します。給湯栓を閉めてから湯はりスイッチを押してください。

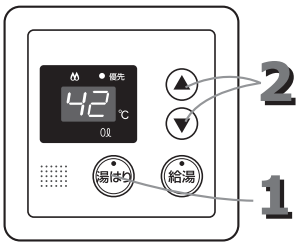
＊お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。

燃焼確認ランプ消灯



お湯はり中にお湯を自動で停止させる

MCS-115Vリモコンの場合

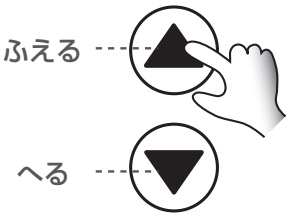


1 「湯はり」スイッチを押す

5秒以内

2 湯はり量を調節する

※湯量を変更する場合のみ行ってください。



5秒後

5秒後、湯はりランプが点灯し、温度表示になる

●10ℓ～500ℓまでは10ℓずつ、さらに990ℓの調節ができます。
●初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴そうを基準にしています。
●設定を記憶します。

●すぐに湯はりランプを点灯させたい場合は、もう1度「湯はり」スイッチを押してください。

5秒後

お湯はり途中で設定湯量を知りたいとき

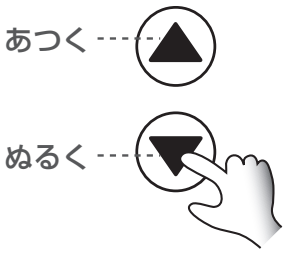
「湯はり」スイッチを押す

数秒後温度表示に戻る

●温度表示に戻る前に「湯量調節」スイッチを押すと湯はり量を変更することができます。
※湯はり量を減らした場合、すでに変更した湯はり量に湯はりされているときは、お湯が止まります。

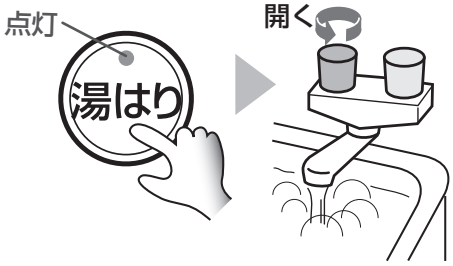
3 湯はり温度を調節する

※湯温を変更する場合のみ行ってください。



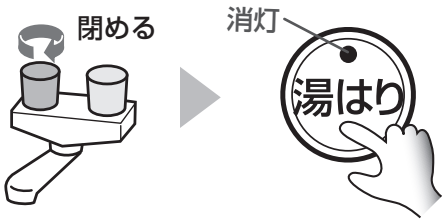
- ●38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
- ●設定を記憶します。

4 「湯はり」スイッチを押してから、給湯栓を開く



燃焼確認ランプ点灯

5 【お湯はり終了】給湯栓を閉めてから「湯はり」スイッチを押して「切」にする



- ●お湯はりが終了すると、ボイスガイドでお知らせし、湯はりランプが点滅します。給湯栓は「開」の状態のままなので必ず給湯栓を閉めてから湯はりスイッチを押してください。

＊お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。

燃焼確認ランプ消灯

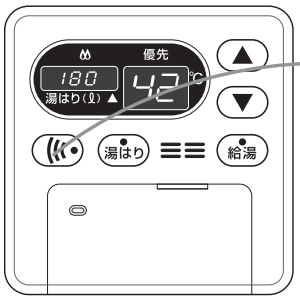
お湯はりを途中でやめたいとき

1 「湯はり」スイッチを2回連続で押す

2 給湯栓を閉めてから、「湯はり」スイッチを押して「切」にする

＊湯量調節をする前に湯はりランプが点灯になってしまった場合は、お湯はりを取り消し、再度設定をやり直してください。

呼び出すには（ MC-117V, FC-117V リモコン MC-115V, FC-115V のみ ）



リモコンの呼び出しメロディを鳴らして
人を呼び出せます。

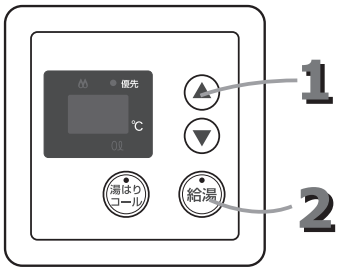
「呼び出し」スイッチ を押す

●相手側のリモコンで、呼び出しメロディーが流れます。

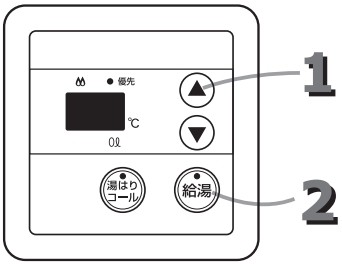
操作確認音の音量調節のしかた

MCS-101, MC-101, SC-101,MC-117, SC-117 リモコンをお使いのかた

【MCS-101リモコン】



【MC-101, SC-101,
MC-117, SC-117 リモコン】



＊ここではMC-117リモコンを使って説明しています。
＊他のリモコンも同じ操作方法です。
＊MC-101，SC-101リモコンの場合「給湯」スイッチが「運転」スイッチになります。

はじめに
リモコンを「切」にする

1 ▲ **を押しながら、** **2** 給湯 **を押す**

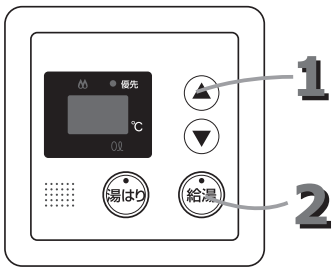
操作するたびに、鳴る・鳴らないの設定が切り替わります。
初期設定は「鳴る」に設定されています。

知っておいてね

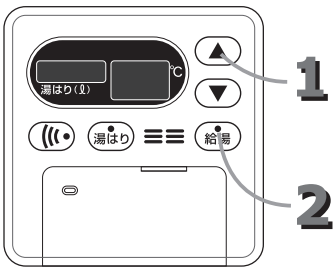
●リモコンを2個以上お使いの場合は、それぞれのリモコンで設定してください。
同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

MCS-115V, MC-115V, FC-115V, MC-117V, FC-117Vをお使いのかた

【MCS-115Vリモコン】



【MC-115V, FC-115V,
MC-117V, FC-117Vリモコン】



はじめに

リモコンを「切」にする

1 ▲ を押しながら、**2** 給湯 を押す

知っておいてね

- ●リモコンを2個以上お使いの場合は、それぞれのリモコンで設定してください。同時には変わりません。
- ●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。
- ●呼び出しメロディは「切」にはなりません。

1、**2** を繰り返すたびに①・②・③…の順に切り替わります。(⑦の次は①に戻ります。)

順	ボイスガイド音	操作確認音	呼び出しメロディ音
①	オフ	大	大
②	小	小	小
③	オフ	小	小
④	オフ	オフ	小
⑤	大	大	大
⑥	オフ	大	大
⑦	中	中	中

(初期設定は、ボイスガイド「中」・操作確認音「中」・呼び出しメロディ音「中」です。)

点検とお手入れ

おねがい

- ●機器を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・お手入れは必ず行ってください。そのときは、機器本体のリモコンとふろ（シャワー）リモコンがある場合は、両方のリモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
- ●故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
- ●「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- ●お手入れの際、指先などのけがには十分注意してください。

点検のポイント

＊点検は常時行ってください。

- **●機器のまわりや排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？**
- **●機器や配管からのガス漏れ・水漏れはありませんか？**
- **●外観に異常はありませんか？**
- **●運転中に異常音はありませんか？**
- **●給気口・排気口（排気筒トップ）が外れたり、ふさがれたりしていませんか？**

不完全燃焼や異常過熱の原因になります。排気筒（排気筒トップ）・給気口をふさがないでください。
排気筒（排気筒トップ）への積雪や、屋根から落ちた雪により排気筒トップがふさがれ、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気筒（排気筒トップ）の点検、除雪を行ってください。
屋根から落ちた雪が排気筒（排気筒トップ）をふさぐおそれのある場合は最寄りの施行業者などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。

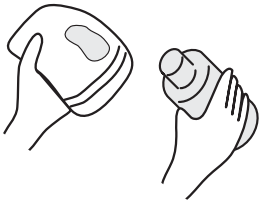
点検とお手入れ

お手入れ （月に1回程度）

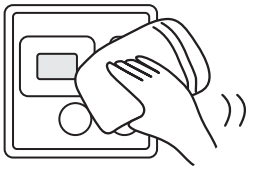
■ 機器外装・リモコン

水気をしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で洗剤分と水気を十分ふき取る

①水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませ、



②軽くふき、



③乾いた布で洗剤分と水気を十分ふきとります。

おねがい

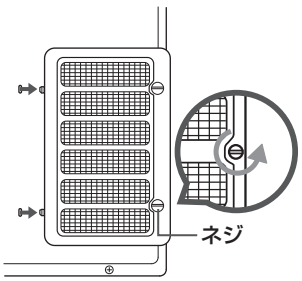
- ●浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、青く変色することがあります。
- ●機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
- ●中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉、スチールウールなどは使用しないでください。表面がキズつきます。また、レンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。
- ●機器外装のお手入れの際、銘板と本体表示をはがさないでください。
- ●リモコンに水（湯）を直接かけて洗わないでください。
- ●点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。
- ●給気フィルターを取り外したまま使用しないでください。また、給気フィルターを取り外した際は、正しく取り付けてください。故障の原因になります。

■ 給気フィルター ＊給気フィルターは月に1回程度、掃除をする

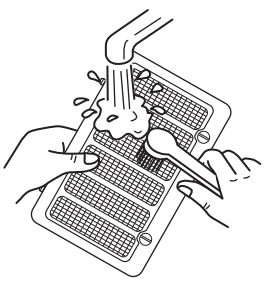
給気フィルター表面のほこりやごみを掃除機で吸い取ってください。変形・破損の原因となりますので、たたいてほこりを落とすことはしないでください。
汚れがひどい場合は給気フィルターを取り外して水洗いしてください。

水洗いする場合

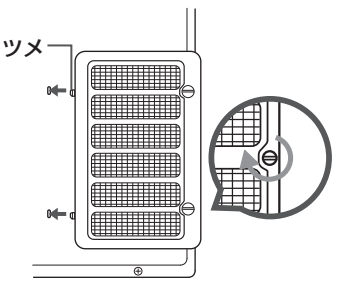
①ネジをゆるめて、給気フィルターを右方に取り外します。



②水洗いはやわらかいブラシなどを使って網に強い力をかけないようにします。



③水洗い後は必ず乾燥させてから元の位置に（給気フィルターのツメを機器にはめて、ネジを締める）取り付けてください。

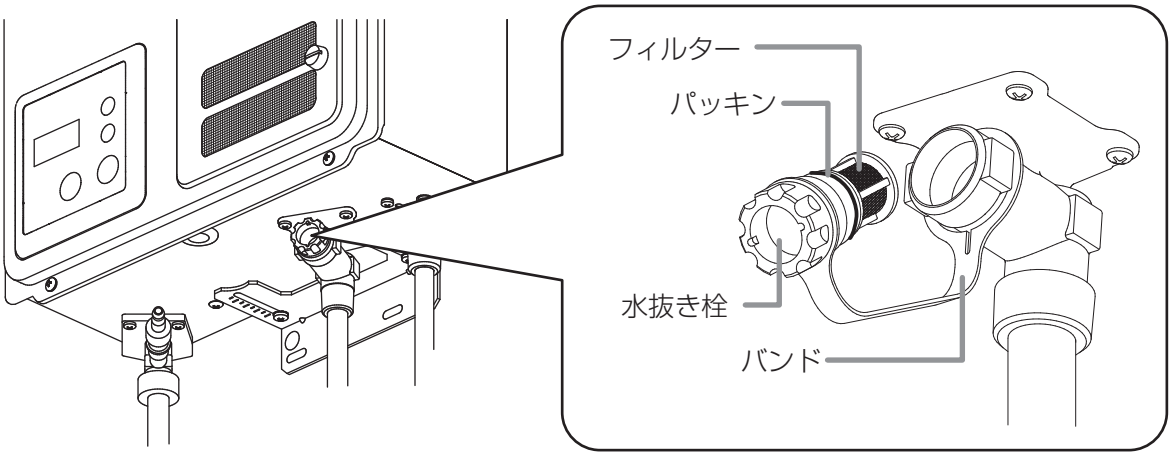


■ 水抜き栓フィルター

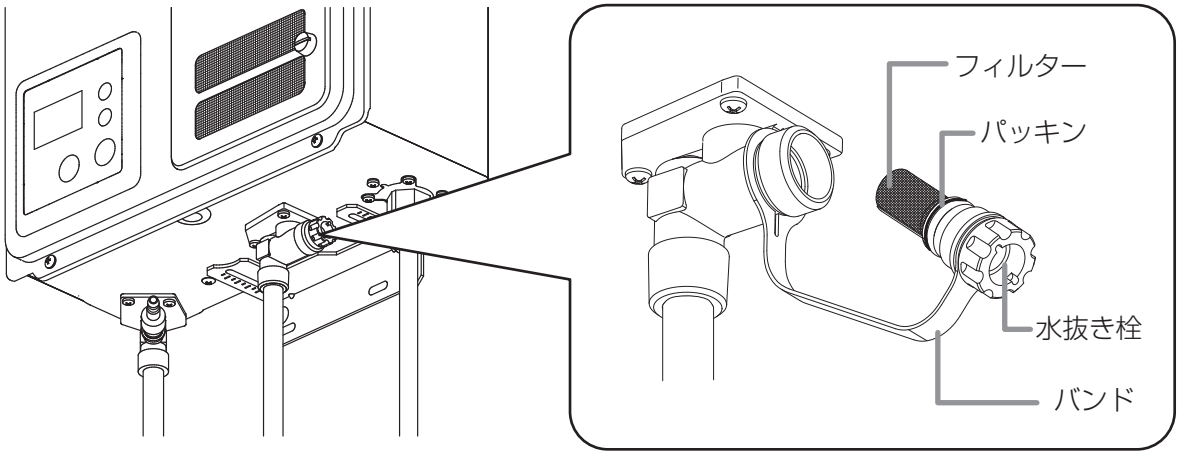
●お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
●水抜き栓をはずすときに、水が飛び出ることがありますので、ゆっくりはずしてください。

1.給水元栓を閉める
2.すべての給湯栓（シャワーを含む）を開ける
3.水抜き栓をはずし、フィルター部分のゴミを取り除く
4.元どおりに水抜き栓を取り付ける
5.すべての給湯栓（シャワーを含む）を閉める
6.給水元栓を開けて水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認する

【PH-163EWHFS , PH-203EWHFS , PH-163EWHFSL】



【PH-163EWFS , PH-203EWFS , PH-103EWFS】



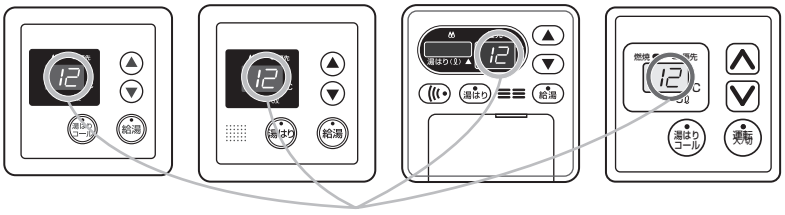
定期点検のおすすめ

より長く安全にお使いいただくために、2年に1回程度（使用頻度の高い場合は1年に2回程度）の定期点検を受けられることをおすすめします。
お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえお申しつけください。（有料）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。
給湯栓は開いたままにしておきます。

●エラーコードの表示位置



エラーコード表示（例）

■エラーコード「88」が表示された場合

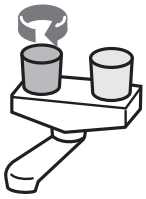
ご使用機器の点検実施時期です。お近くのパロマ（34ページ参照）までご連絡ください。
点検に関するご案内をさせていただきます。

エラーコードが表示されたら

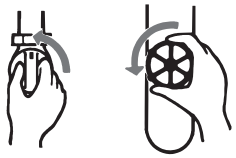
1,下記の動作を行ってください。

①お湯を使用している場合は、給湯栓を閉めてください。

閉める



②ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認してください。



全開にする

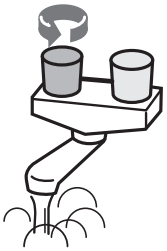
③「給湯」（または「運転」）スイッチを押し、運転を「切」にしてください。5分ほど待ってから再びリモコンの「給湯」（または「運転 」）スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

「切」

「入」

④給湯栓を再び開けてください。

開く



2.それでもなおエラーコードが表示される場合、
- ●次ページ以外のエラーコードが表示される場合は3へ
- ●次ページのエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンを「切」にする。次ページの処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は3へ

3.給湯栓を閉め、リモコンを「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼する。
このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

■不完全燃焼防止装置が働いたとき

機器が不完全燃焼するような状態になると、正常な燃焼を保つように不完全燃焼防止装置が働きます。
正常な燃焼が保てなくなると、自動的にガスを止め燃焼を停止します。
次のエラーコードが表示されたら、機器が使用できる場合でも給湯栓を閉め、すみやかに処置してください。

給湯温度表示の時でも燃焼ランプと運転ランプが同時点滅しているときは、不完全燃焼するような状態が起きはじめています。次のページのエラーコード「05」の処置をしてください。

エラーコード	原　　因	処　　置
11 **12**	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にする
15 **16**	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
	水抜き後の再使用時の順番が違っている	「凍結を防ぐには」の水抜き後の使い方参照
05 60秒ごとに「ピー・ピー・ピー」とブザーが鳴る （不完全燃焼するような状態が進行しています。） ＊給湯栓を閉めればブザーは止まります。	機器の給気口・排気口(排気トップ)あるいは室内の換気口をふさいでいる	●機器の給気口・排気口（排気トップ）あるいは室内の換気口をふさいでいるものを取り除く ●給気口に油・ほこりが付着している場合は、布等でふき取る
	長時間ストーブ・ファンヒータなどの器具と同じ部屋で使用し、空気が汚染されている	窓や換気口を開けて、部屋の空気を入れ替える
	レンジフードや換気扇が強すぎて、機器の給気が不足している	レンジフードなどの換気を「弱」にする
	機器が湯気を多量に給気し、空気が不足している	湯気が機器に直接あたらないようにする
	給気フィルターがつまっている	給気フィルターを掃除する（「お手入れ」参照）
	給気フィルターがはずれている ※この場合はブザーは鳴りません	給気フィルターを取り付ける
13	再使用したときに同じ症状が出る場合は修理が必要ですので、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。	

下記のような現象が生じた場合は、症状に応じた処置を行ってください。
また処置をしてもなお異常があるときやご不明な点は、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現象	原因と処置
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●給水元栓が十分開いていない（14ページ） ●LPガスの場合、LPガスがなくなりかけている（ボンベを交換してください。） ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。） ●凍結している（30ページ） ●給湯スイッチが「入」になっていない ●断水・停電しているまたは電源プラグが抜けている（11ページ） ●ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している ●使い始めは給湯管内の冷水を追い出すため、お湯が出てくるまでにしばらく時間がかかることがあります。 ●水抜き栓フィルターにゴミが詰まっている（26ページ）
家中のお湯が出ない	●「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯が止まります。

故障かな？と思ったら

現象	原因と処置
途中で水になる	●給水元栓が十分開いていない（14ページ） ●停電している、または電源プラグが抜けている（11ページ） ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。）
高温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない（16, 20, 22ページ） ●ガス栓が全開になっていない（14ページ） ●給湯栓が全開になっている ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 ●混合栓を使用している場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。 ●冬期など水温が低い場合に、高温のお湯を大量に使用しようとすると設定温度のお湯がでないことがあります。 （給湯栓をしぼり湯量を少なくすれば、湯温は安定します。）
低温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない（16, 20, 22ページ） ●給水元栓が十分開いていない（14ページ） ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 ●少量のお湯を使用しようとすると、湯温が高くなります。 （給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。） ●夏期など水温の高い場合に、低温のお湯を使用しようとすると湯温が設定温度より高くなります。（15ページ）
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡とにた現象であり、汚濁とは違い無害です。
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがありますが水漏れではありません。 （機器下面がぬれて困るようなときは、ビニールホース等で支障のないところへ排水してください。尚、ホースは中に水が溜まらないように取り付けてください。
排気口から白い煙のようなものが出る	●外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。 ●1日1回程度の割合で、通常よりも少し大きな音がすることがありますが故障ではありません。
浴槽のお湯が少ない	●お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。
温度設定ができない	●操作しているリモコンが優先になっていない

凍結を防ぐには

冬期には給水、給湯配管が凍結し、破損事故がおこることがあります。
このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

＊暖かい地域でも機器や配管内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、下記の必要な処置をしてください。
＊北海道などの寒冷地では「③機器内の水を抜く方法」をおすすめします。

① 凍結予防ヒータによる方法

この機器には、凍結予防ヒータが組み込まれていますので、
機器本体に電気が供給されている限り、無風状態でマイナス20℃
程度まで機器内の凍結を予防できます。
外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します。

凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください。

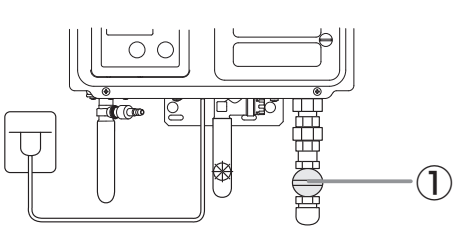
おねがい

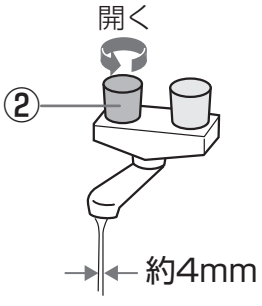
- 機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので配管の水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。
- 凍結予防ヒータが有効なのは無風状態で外気温マイナス20℃程度までですので、**気象状況により「②通水による方法」「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。**

② 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

リモコンを「切」にしておいてください。
①ガス栓を閉めます。
②給湯栓を少し開けておきます。
　流量が不安定になるため、30分後に
　もう一度流量を確認してください。





おねがい

寒い日は多めに水を流してください。

凍結したときは

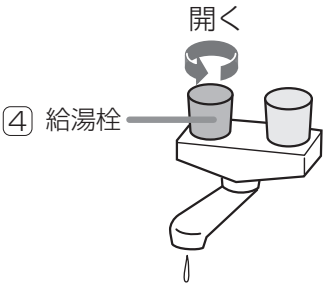
- 凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
- 凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
- 凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

凍結を防ぐには

③ 機器内の水を抜く方法

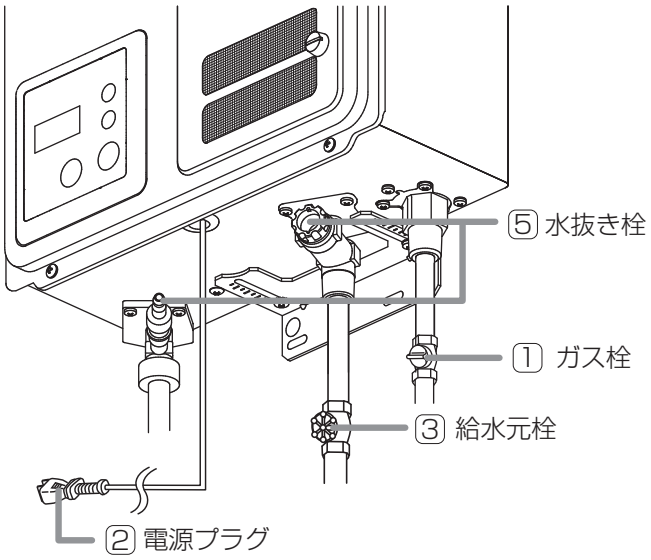
※機器の水抜きをする場合、リモコンを「切」にし、機器が冷えてから行ってください。

リモコンを「切」にしておいてください。
①ガス栓 ① を閉めます。
②電源プラグ ② を抜きます。
③給水元栓 ③ を閉めます。
（不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。）
④全ての給湯栓 ④ を開けます。
⑤水抜き栓 ⑤ （2箇所）をはずします。

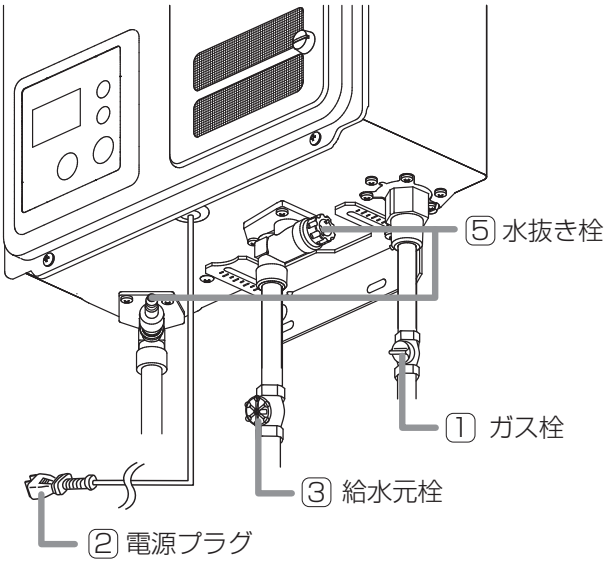


再使用するまでこのままにしておきます。

■ PH-163EWHFS , PH-203EWHFS , PH-163EWHFSL



■ PH-163EWFS , PH-203EWFS , PH-103EWFS



水抜き後の使いかた

①水抜き栓を閉めます。
②給水元栓（または不凍栓）を開け、給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止めます。
水が出ない場合は、電源プラグを差し込み、約30分後にもう一度②の操作を繰り返してください。
③14ページの「使用前の準備と確認」から始めます。

＊再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを触らない。
→感電のおそれがあります。

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

仕　様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品名	PH-103EWFS	PH-163EWFS PH-163EWHFS PH-163EWHFSL	PH-203EWFS PH-203EWHFS
型式名	別表「型式名」欄参照		
器具名	別表「器具名」欄参照		
接続(給水・給湯)	給湯・給水：R1/2(15A)		
	ガス：別表「ガス接続」欄参照		
電源	消費電力：別表「消費電力」欄参照　　待機時消費電力：3.0W		
	使用電源：AC100V（50Hz/60Hz）　　電源コード長さ：1.5m　　凍結予防ヒータ…68W		
種類	給湯方式：先止め式　　給排気方式：強制排気式		
設置方式	屋内壁掛式		
本体（器体）寸法	高さ520×幅350×奥行150mm		
質量（本体）	15kg		
点火方式	放電点火式		
給湯温度制御	比例制御		
最低作動水量	2.5L/分		
水圧	使用水圧：80～1000kPa（0.8～10.0kg/cm²）　　最低作動水圧：10kPa（0.1kg/cm²）		
安全装置	フレームロッド式立消え安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・ 過圧防止安全装置・凍結予防装置（電気ヒータ）不完全燃焼防止装置		

＊最低作動水量は、入水温や設定温度により増加する場合があります。

使用ガス（ガスグループ）		型式名	器具名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ/分			消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇		
都市ガス用	12A	Q-1-3	PH-163EWFS	32.6	(14.9)	9.3	6.7	55W	R1/2 (15A)
			PH-163EWFS(10)						
			PH-163EWFS(20)						
			PH-163EWHFS						
			PH-163EWHFS(10)						
			PH-163EWHFS(20)						
	13A		PH-163EWFS	34.9	(16.0)	10.0	7.2	55W	
			PH-163EWFS(10)						
			PH-163EWFS(20)						
			PH-163EWHFS						
			PH-163EWHFS(10)						
			PH-163EWHFS(20)						
LPガス用			PH-163EWFS	34.9	(16.0)	10.0	7.2	52W	
			PH-163EWFS(10)						
			PH-163EWFS(20)						
			PH-163EWHFS						
			PH-163EWHFS(10)						
			PH-163EWHFS(20)						

＊出湯量の（　　）内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

仕　様

使用ガス（ガスグループ）		型式名	器具名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ /分			消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇		
都市ガス用	12A	Q-2-3	PH-203EWFS	39.7	(18.6)	11.6	8.5	70W	R1/2 (15A)
			PH-203EWFS(10)						
			PH-203EWFS(20)						
			PH-203EWHFS						
			PH-203EWHFS(10)						
			PH-203EWHFS(20)						
	13A		PH-203EWFS	42.5	(20.0)	12.5	9.1	70W	
			PH-203EWFS(10)						
			PH-203EWFS(20)						
			PH-203EWHFS						
			PH-203EWHFS(10)						
			PH-203EWHFS(20)						
LPガス用			PH-203EWFS	42.5	(20.0)	12.5	9.1	64W	
			PH-203EWFS(10)						
			PH-203EWFS(20)						
			PH-203EWHFS						
			PH-203EWHFS(10)						
			PH-203EWHFS(20)						

使用ガス（ガスグループ）		型式名	器具名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ /分			消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇		
都市ガス用	12A	Q-10-3	PH-103EWFS	20.4	(9.3)	5.8	4.2	39W	R1/2 (15A)
			PH-103EWFS(10)						
			PH-103EWFS(20)						
	13A		PH-103EWFS	21.8	(10.0)	6.3	4.5	39W	
			PH-103EWFS(10)						
			PH-103EWFS(20)						
LPガス用			PH-103EWFS	21.8	(10.0)	6.3	4.5	36W	
			PH-103EWFS(10)						
			PH-103EWFS(20)						

＊出湯量の（　　）内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」31ページ参照)

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- **ご住所・ご氏名・電話番号**
- **現象(できるだけ詳しく)**
- **品名・型式名(銘板表示のもの)**
- **ご購入日・ガス種**
- **道順**

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日　8：30～18：00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】 受付時間：平日　9：00～18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033　札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041　仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015　東京都北区中里3－11－9太平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5101	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013　大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804　広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016　福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は製造打ち切り後7年間（BL認定部品は10年間）保有しております。

BL認定部品について

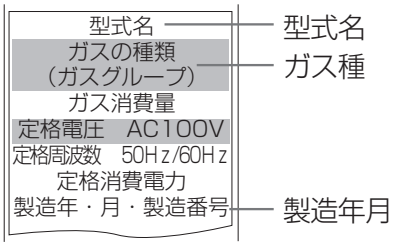
優良住宅部品（BL認定部品）は、住宅に設置する場所（適用範囲）を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品（BL認定部品）の適用が受けられなくなります。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。
銘板の読みかたは、
［例］10（製造年）・06（製造月）-123456（製造番号）です。



保 証 書

ガス瞬間給湯器

PH-103EWFS , PH-163EWFS , PH-203EWFS , PH-163EWHFS , PH-203EWHFS , PH-163EWHFSL

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《 無料修理規定 》

1. 取扱説明書､本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には､お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は､お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ､本書をご提示ください｡なお､離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください｡
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には､お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動 (取付工事依頼の必要な機器の場合)､落下等による故障および損傷
   (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ，鳥，くも，昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
   (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
   (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので､紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前	様
	ご住所　〒	
	お電話	
販売店	店名	
	住所	
	電話番号	

お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日から1年間

BL認定部品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。

＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

点検･修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- **ご住所･ご氏名･電話番号**
- **現象(できるだけ詳しく)**
- **品名・型式名(銘板表示のもの)**
- **ご購入日･ガス種**
- **道順**

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

41041870003

24. 4. ③ OG 41 04187